



# 全国楽器協会 「共通商品コードセンター」

## とパソコンで通信可能なソフト (全銀TCP/IP)のご紹介

2008年 5月

全国楽器協会情報活用委員会  
株式会社 ビック東海



# 目次

---

1. 導入編	.....P3
2. 運用編	.....P34

※本資料はPCのOSがWindows2000、ブラウザがIE6. 0をベースに記載しております  
OSやバージョンによって、若干画面に違いがありますが、類似する項目にて設定を  
行って下さい。

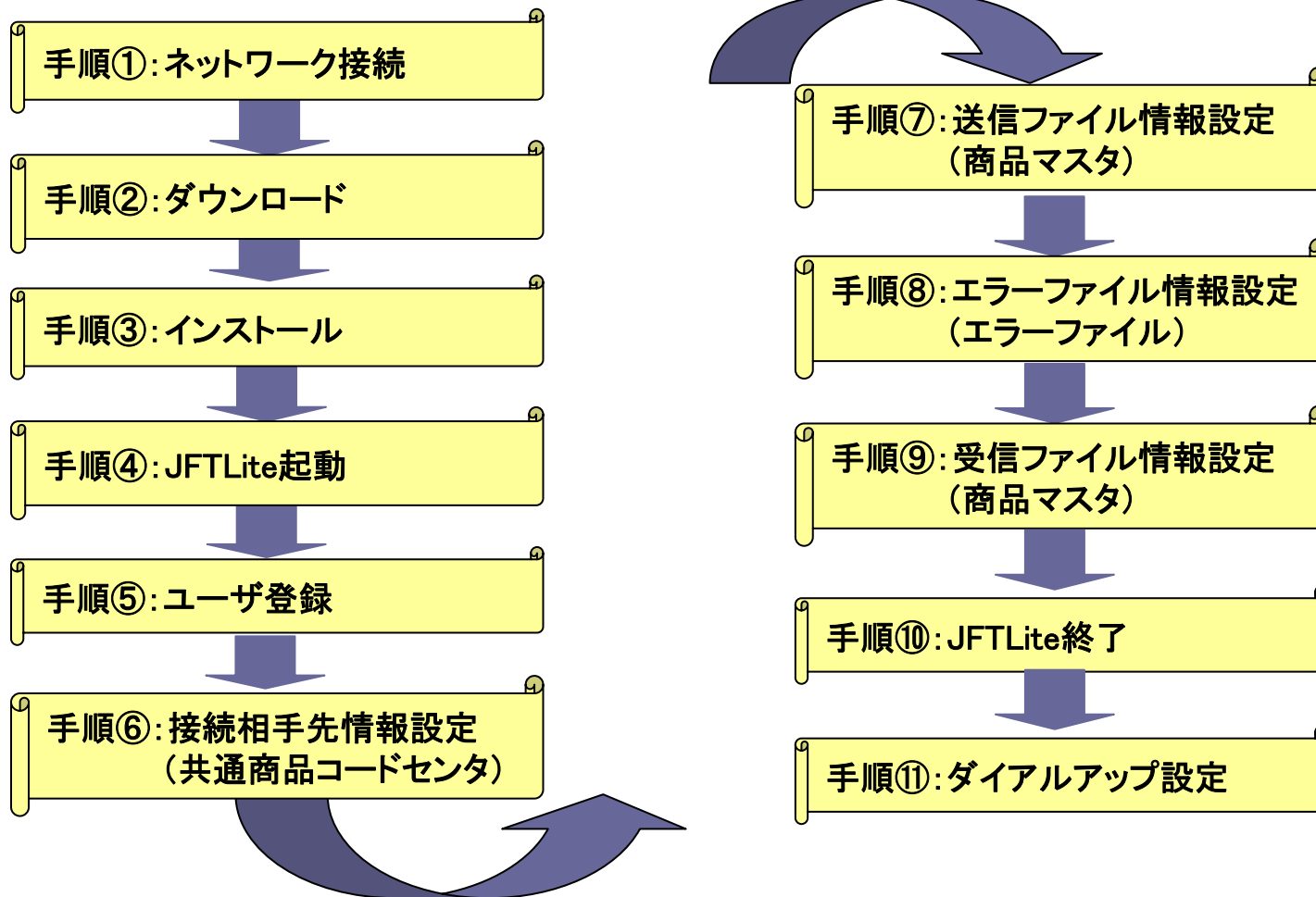
※本資料をご利用の前に、共通商品コードセンタ利用通知書を必ずご用意ください。  
共通商品コードセンタ利用通知書は(株)NTTデータ殿より入手してください。



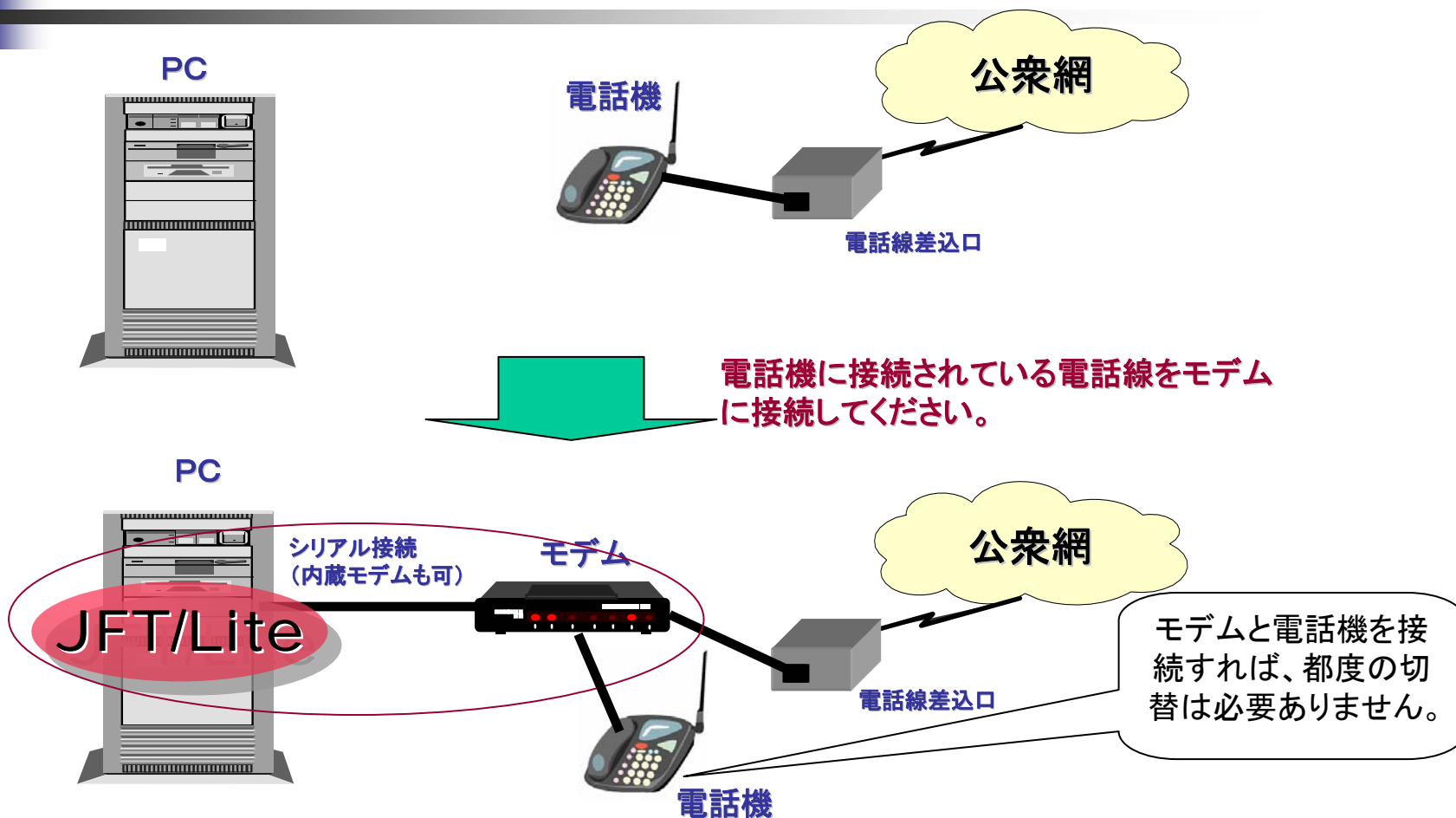
---

# 導入編

# 導入手順



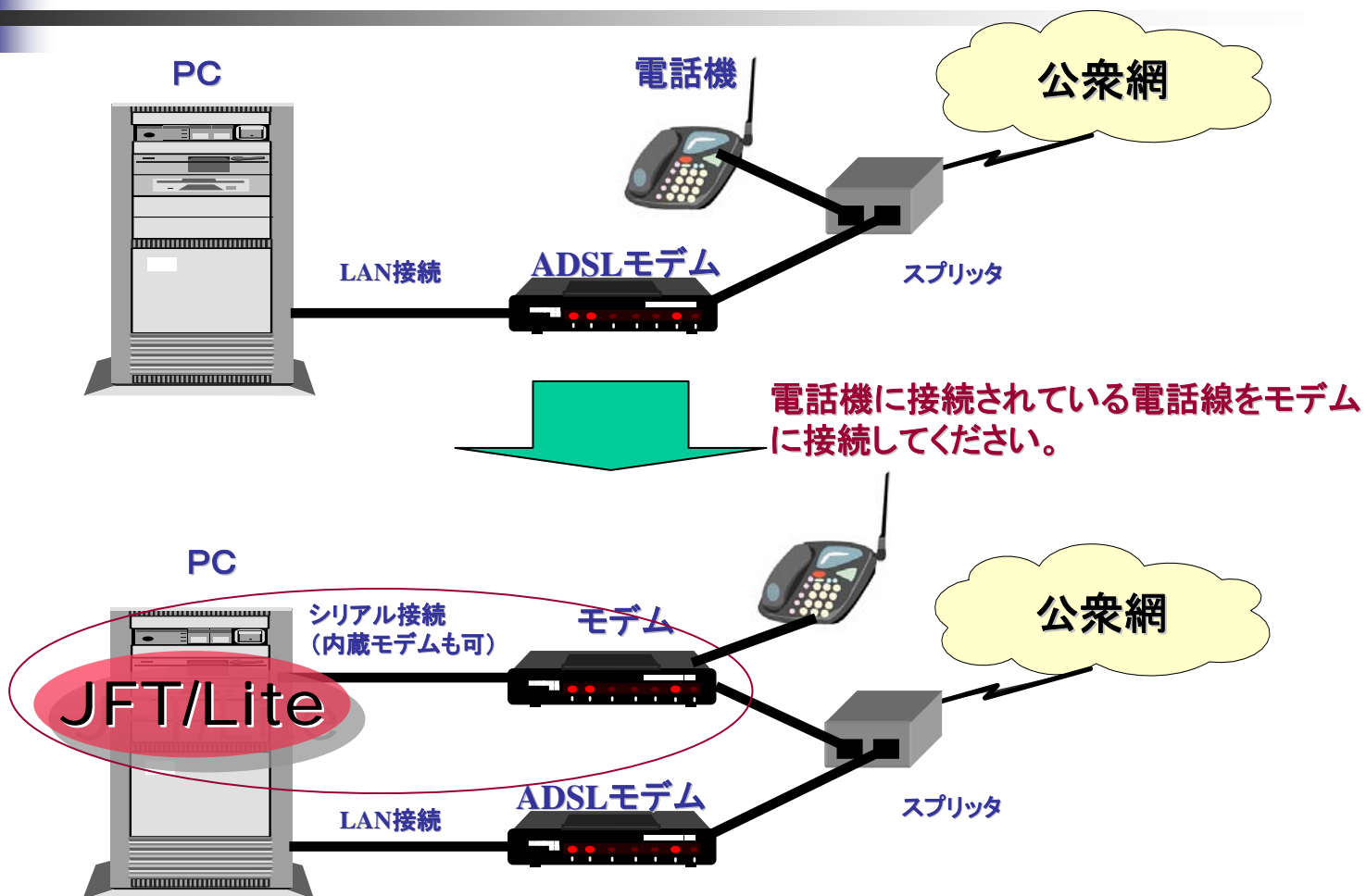
## ①-1. ネットワーク接続(通常の場合)



ダイヤルアップ接続を行う場合はモデムをご用意ください。なお、PCにモデムが内蔵されている場合は別途をご用意いただく必要ありません。直接PCのモデムポートに接続してください。

(ダイヤルアップ接続中は電話機はご利用できません。)

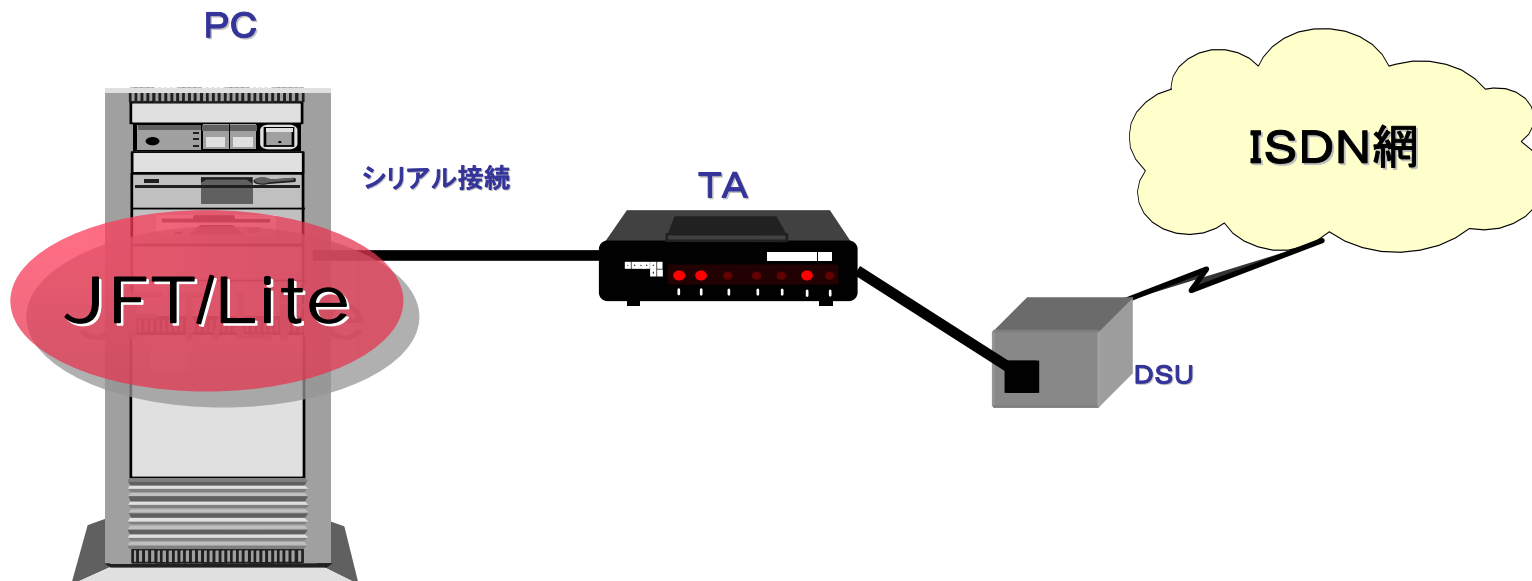
## ①-2. ネットワーク接続(ADSLをご利用中の場合)



ADSLをご利用中の場合はモデムをご用意ください。なお、PCにモデムが内蔵されている場合は別途ご用意いただく必要ありません。直接PCのモデムポートに接続してください。

(ダイヤルアップ接続中はADSLによるインターネット接続はご利用できません。)

## ①-3. ネットワーク接続(ISDN接続の場合)



ISDN接続の場合TAをご用意ください。ご利用方法はモデム接続の場合と同じです。  
(TAとPCの接続方法につきましては、TAの取扱説明書をご参照ください)



## ①-4. ネットワーク接続(その他の場合)

### ①構内交換機回線(内線電話をご利用の場合)

内線電話機のケーブルを外して、モデムに接続しても通信は行えません。  
FAX機器等に接続されている、外線電話回線を必ずご使用ください。

### ②ISDNデジタル回線(ルータ接続をご利用の場合)

ダイヤルアップルータにより、接続を希望される方は、PC設定のほかにルータ側にも設定が必要となります。

(御社ネットワーク担当者様にご相談ください)

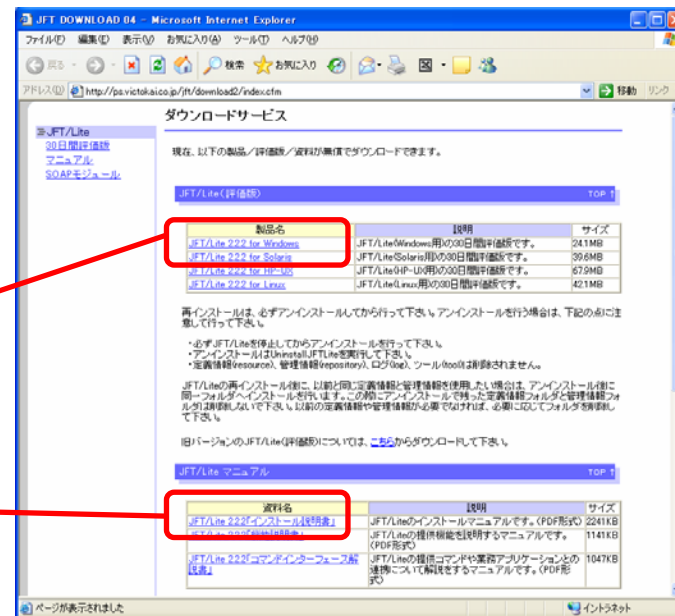


## ②-1. ダウンロード

最初にインターネットに接続して、下記URLのHPをご参照ください。

<http://www.pd-victokai.com/jft>

1. ダウンロードをお選びいただきますと、ダウンロード専用ページに移動します。



「JFT/Lite for Windows」  
をクリックします。

「インストール説明書」  
をクリックします。

※必要な場合プログラムのダウンロードの  
後で、実行してください。

## ②-2. ダウンロード

JFT/Lite評価版ダウンロード

評価版について

本JFT/Liteソフトウェアは、試用期間限定30日間の評価版です。  
なお、Version2.00で追加されたSOAPインタフェースモジュールは評価版インストールには含まれておりませ  
ん。SOAPインタフェース機能を利用する場合は、別途「JFT/Lite SOAPインタフェースモジュール」を本サイ  
トからダウンロードしてください。

本ソフトのご利用に当たっては、ご利用前に必ずJFT/Lite使用許諾条件をご覧になり、ご了承の上ご使用く  
ださい。  
→ [使用許諾条件](#)

ダウンロードフォームの入力

ダウンロードに当たり、下記のフォームに必要項目を入力して下さい。  
※は必須入力項目です。

製品/資料名:	JFT/Lite Version 2.00 for Windows
*お名前:	<input type="text"/>
*メールアドレス:	<input type="text"/>
会社・組織名:	<input type="text"/>
部署名:	<input type="text"/>
都道府県:	<input type="text"/>
市区町村・ビル名:	<input type="text"/>
お電話番号:	<input type="text"/>

ダウンロードへ

お客様情報の記入

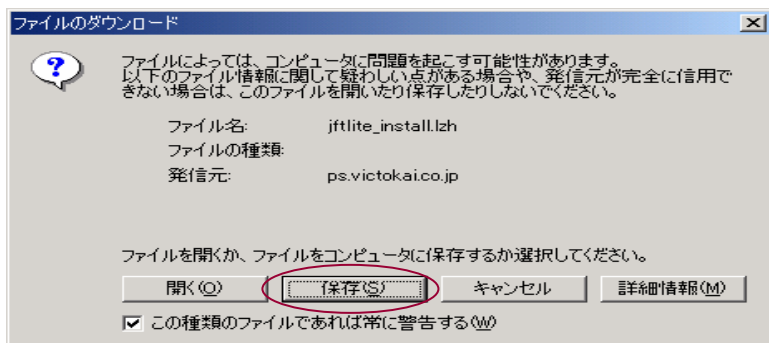
2. 左図のダウンロードフォームにお客様情報を入力して頂きます。お名前とメールアドレスは必須項目となりますので必ず入力をお願いいたします。
3. 入力後「ダウンロードへ」を押していただくと下図のページへ移行します。ダウンロードボタンを押して、次ページを参照ください。

JFT/Lite評価版ダウンロード

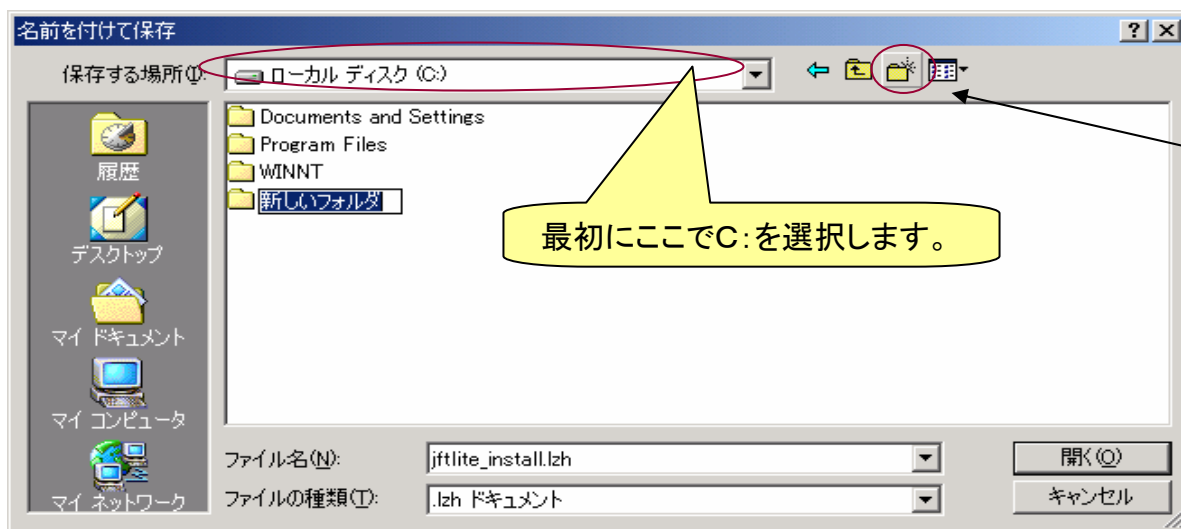
ダウンロード

説明	JFT/Lite (Windows用) の30日間評価版です。
サイズ	16.59MB
更新日	2002.09.06

## ②-3. ダウンロード

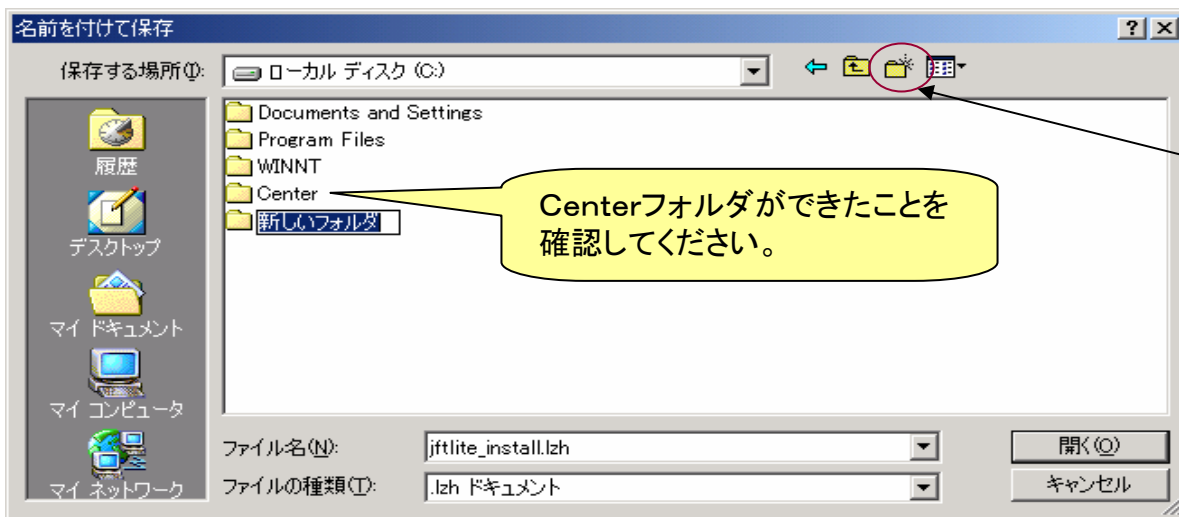


4. 左図のダイアログが出ますので、保存を押します。



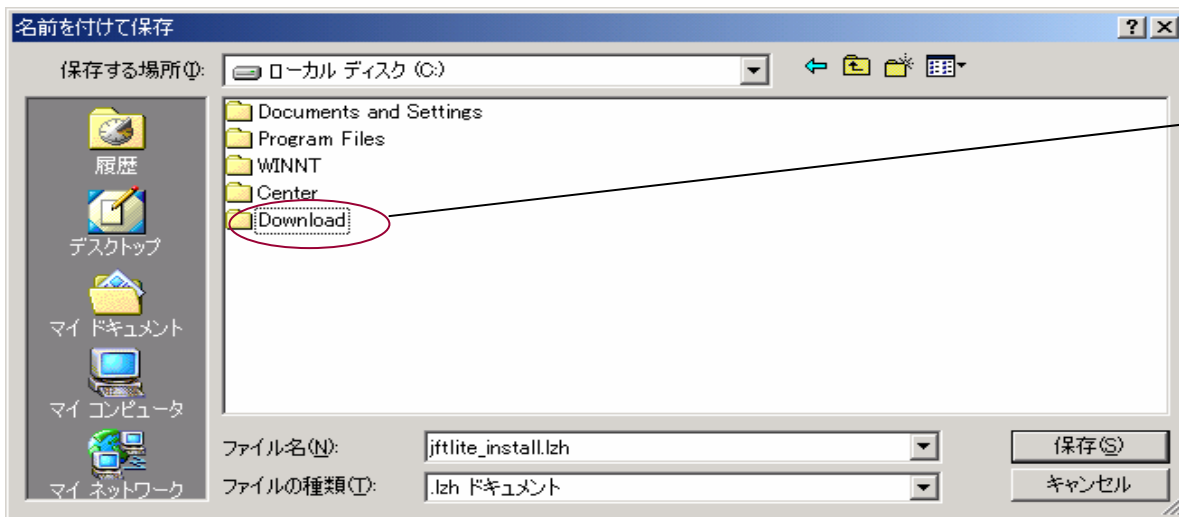
5. C:に移動後、このアイコンを押すと「新しいフォルダ」が作成されます。そのまま「Center」と入力して下さい。

## ②-4. ダウンロード



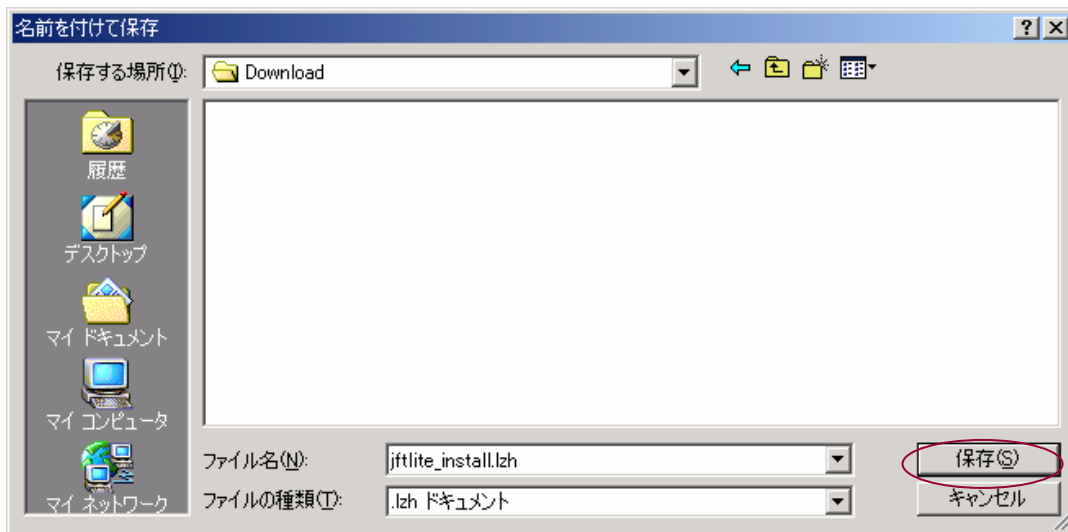
6. Centerフォルダできたことを確認後、再度アイコンを押すと「新しいフォルダ」が再度作成されます。そのまま「Download」と入力して下さい。

※Centerフォルダは後の24ページの設定で使用しますので、必ず作成しておいて下さい。

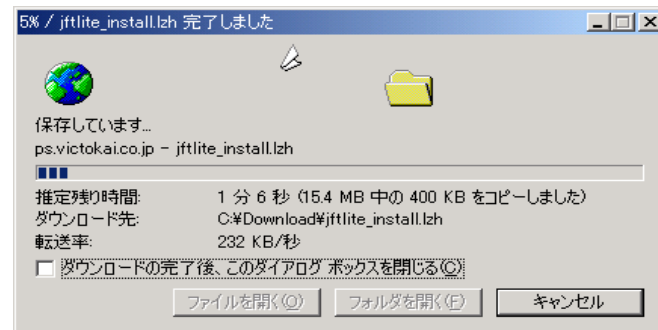


7. Downloadフォルダできたことを確認後、Downloadフォルダをダブルクリックして下さい。

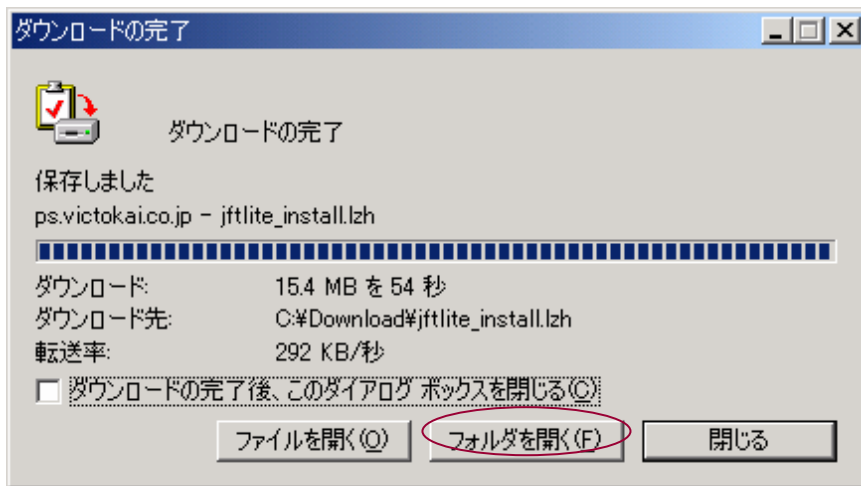
## ②-5. ダウンロード



8. 左図の画面になったら、保存を押してください。  
ダウンロードが開始されます。

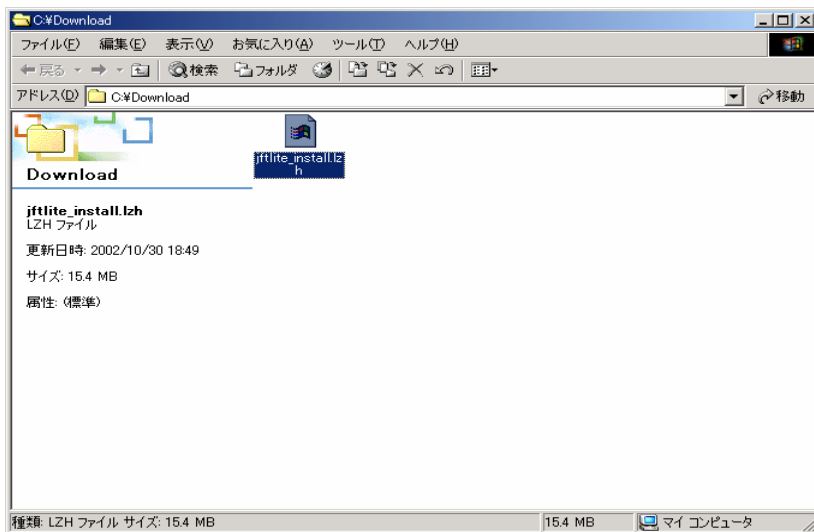


※ダウンロード時間は接続スピードにより変わってきます。  
ADSL640Kなら10分程度です。



9. ダウンロード完了後「フォルダを開く」を押してください。

## ②-6. ダウンロード

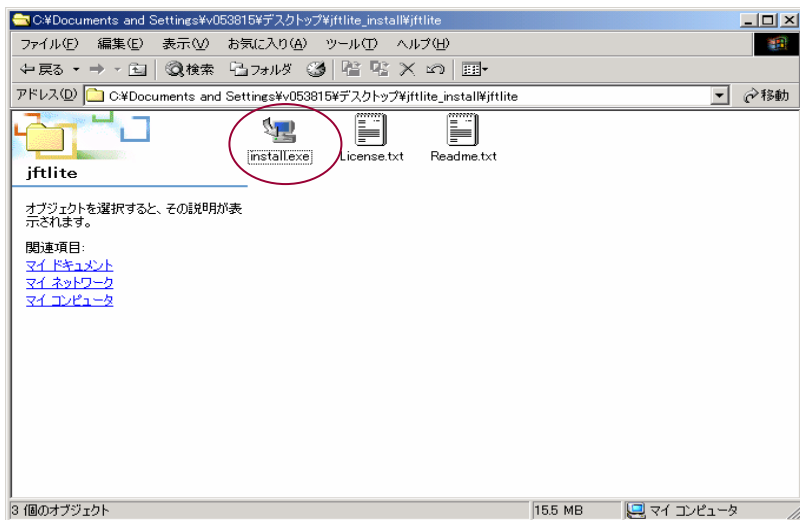


10. フォルダをひらくと「jftlite\_install.lzh」というファイルが  
できています。  
ファイル解凍ツール(Lhasaなど)で解凍して下さい。

※解凍ツールが無い場合は下記URLで入手できます。

<http://www.vector.co.jp/soft/dl/win95/util/se026842.html>

使用方法等は、解凍ツールのマニュアルをご参照ください。  
(フリーソフトのためご利用はユーザー様の責任で行ってください)



11. 解凍するとinstall.exeとReadme.txt、License.txtが  
展開されます。  
install.exeをダブルクリックし、インストール作業を  
行ってください。

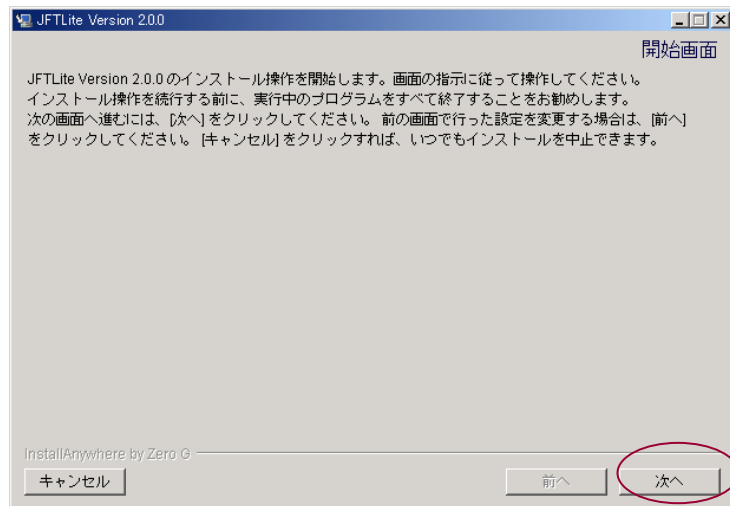
## ③-1. JFT/Lite インストール



1. JFT/Liteのインストーラ(install.exe)を実行して下さい。

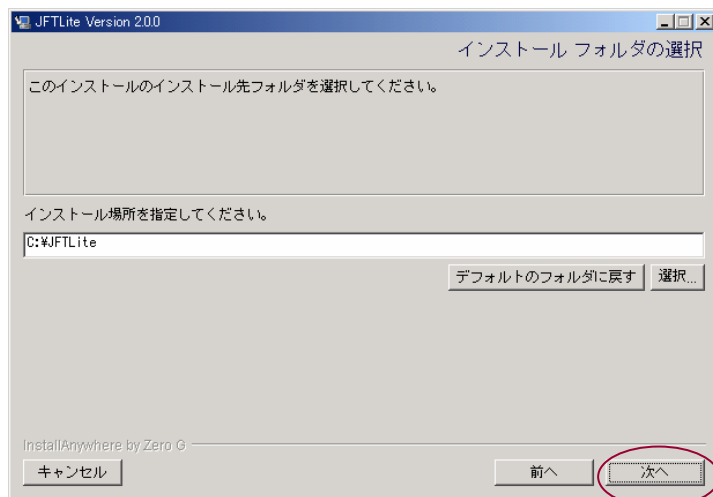
※インストール準備が整うと左のような画面が表示されます。

2. 「OK」ボタンを押して下さい。



3. 「次へ」ボタンを押して下さい。

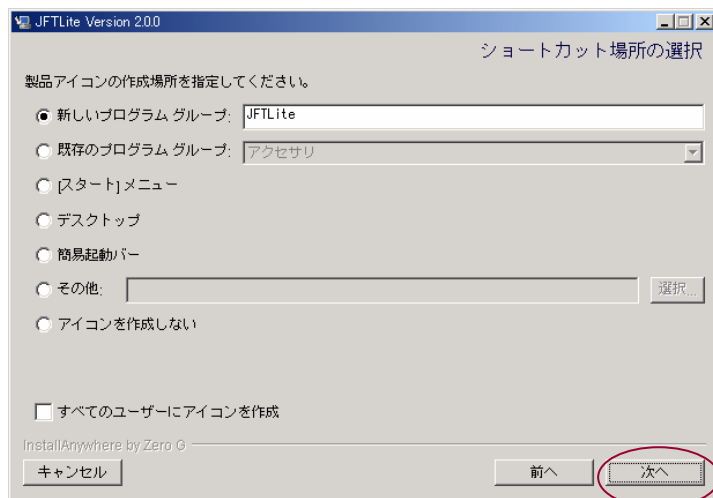
## ③-2. JFT/Lite インストール



4. 「次へ」ボタンを押して下さい。

C:\JFTLiteにインストールします。

※インストール場所を変更したい場合は参照ボタンを押してフォルダを選択して下さい。

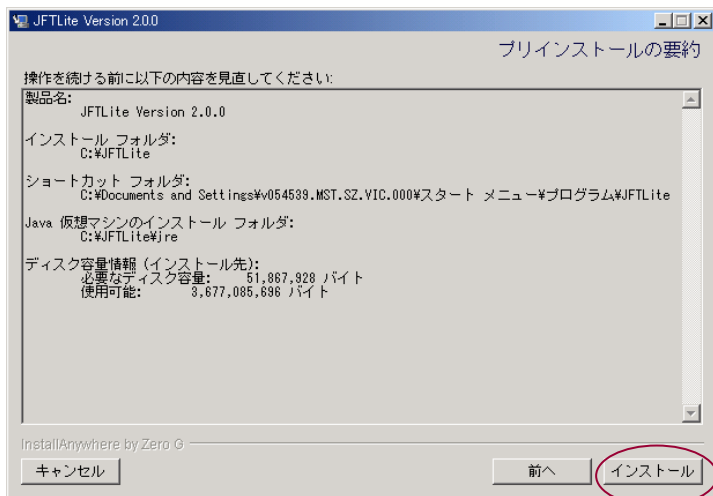


5. 「次へ」ボタンを押して下さい。

※”新しいプログラムグループ“を選択します。

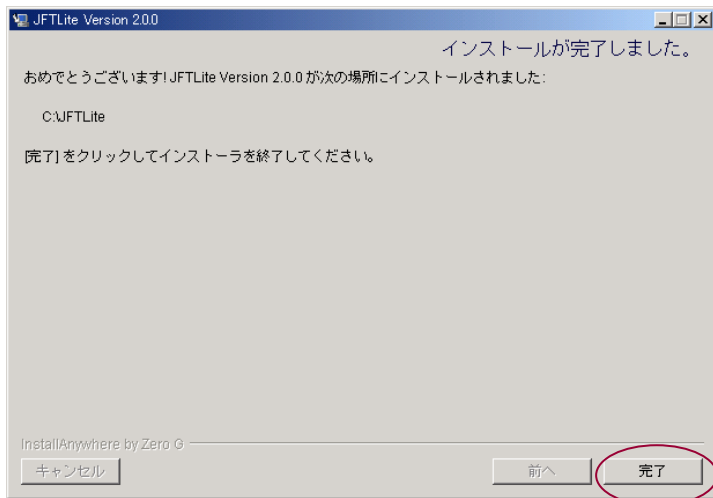


### ③-3. JFT/Lite インストール



6. 「インストール」ボタンを押して下さい。

※インストールを開始します。



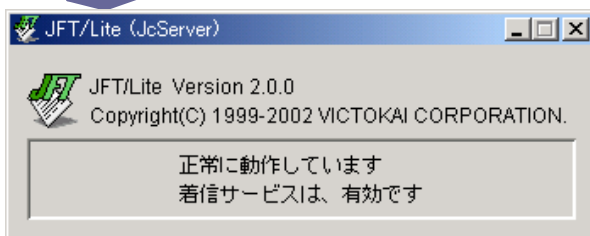
7. 「完了」ボタンを押して下さい。

※インストールを終了します

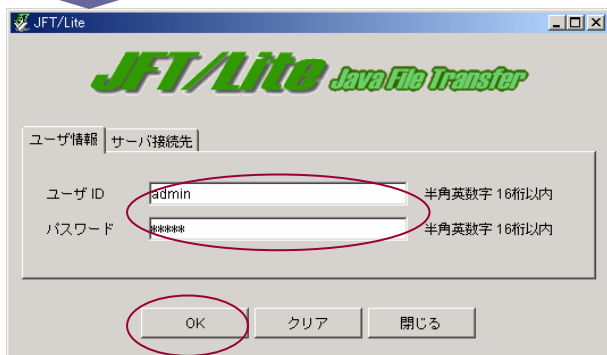
## ④ JFT/Lite 起動 (JFT/Lite 初期設定の開始)



JcServer



JcMonitor



1. デスクトップ(画面)上の「JcServer」アイコンをダブルクリックして下さい。

※アイコンはデスクトップ上にあります。

※左のようなダイアログが表示されます。表示されない場合は、タスクバーを確認して下さい。

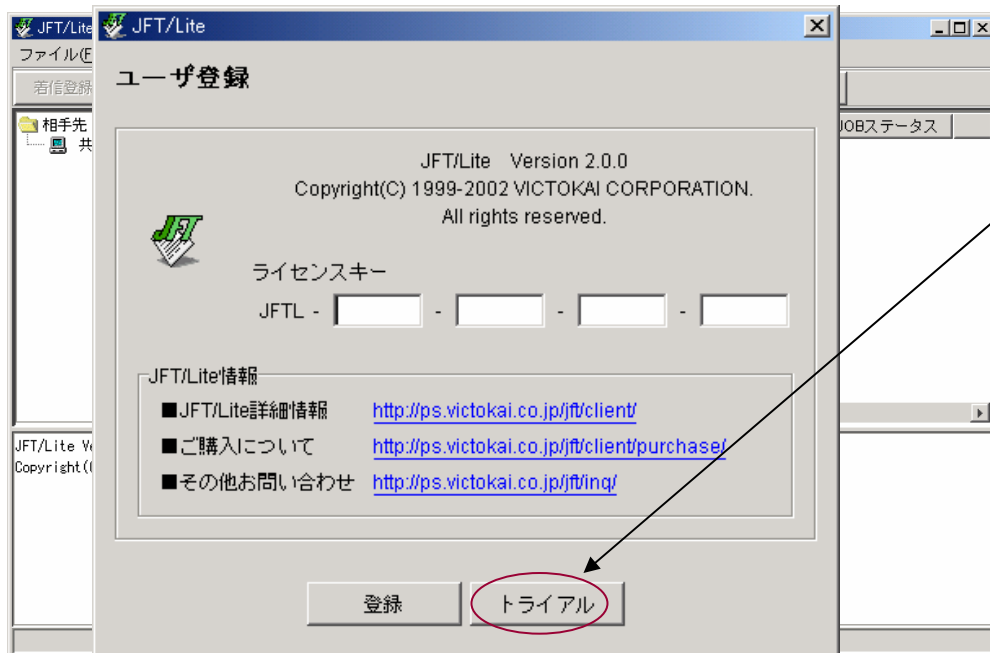
2. デスクトップ上の「JcMonitor」アイコンをダブルクリックして下さい

※アイコンはデスクトップ上にあります。

※左のようなダイアログが表示されます。

3. ユーザIDに”admin”、パスワードに”admin”を入力し「OK」ボタンを押します。(半角入力です)

## ⑤-1. ユーザ登録(トライアルの場合)



ユーザ登録画面が出たら、「トライアル」ボタンを押して下さい。  
この時点でライセンスキーの入力は必要ありません。

※トライアルは30日間限定となります。

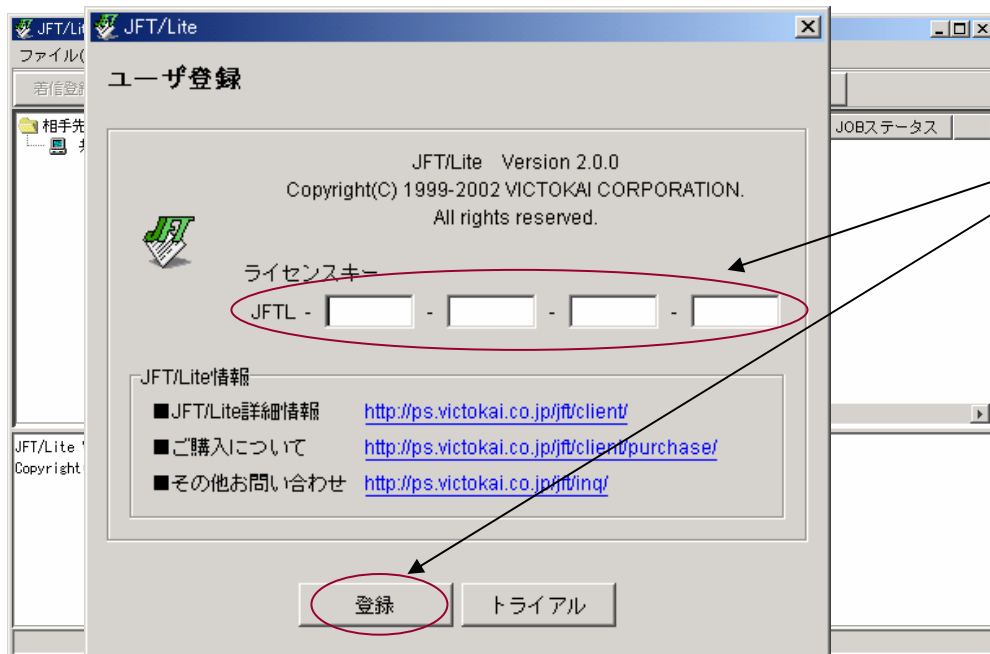
30日以内にライセンスキーを取得していただき、ユーザ登録を行ってください。

※30日以内にユーザ登録を行わない場合は使用できなくなりますのでご注意ください。

トライアルでのご利用中は、JFT/Lite起動時に毎回このユーザ登録画面がでてきます。

ユーザ登録後はこの画面は出てきません。

## ⑤-2. ユーザ登録(ライセンスキーを取得した場合)



弊社よりライセンスキーを取得された場合、ライセンスキーを入力し「登録」ボタンを押します。  
これでユーザ登録は完了です。

※ライセンスキーの取得方法につきましては、  
48ページをご参照下さい。

※トライアル実行日から30日間過ぎていた場合は、JFT/Liteを最初にアンインストールし、再度インストールから行っていただきます。  
(初期設定も再度行う必要があります)

トライアル期間中(30日以内)にユーザ登録を行っていただければ、再設定の必要はなく、そのままご利用いただけます。

ライセンスキーの取得には数日かかりますので、早めに行ってください。

## ⑥-1. 接続相手先情報設定 (共通商品コードセンタ)

“相手先”を右クリックして「新規作成」→「相手先」を選択して下さい。  
※下のような画面が表示されます。

次ページの設定内容に従って設定して下さい。

設定し終わったら「OK」ボタンを押して下さい。

※タブを押し「全銀手順」と「接続情報」の2画面について設定を行います。

## ⑥-2. 接続相手先情報設定(共通商品コードセンタ)

タブ名	JFT/Lite設定項目	設定内容(入力内容)
共通	相手先名	共通センタ
全銀手順	相手センタコード	利用通知書の12番「相手センタ確認コード」 ※HEX入力(右にあるHEXを指定して下さい)
	当方センタコード	利用通知書の13番「当方センタ確認コード」 ※HEX入力(右にあるHEXを指定して下さい)
	全銀パスワード	利用通知書の14番「パスワード」 ※半角入力(右にある半角を指定して下さい)
	手順タイプ	利用登録依頼書の9番「全銀プロトコル伝送手順」
接続情報	IPアドレス1	利用通知書の10番・11番 ホスト名、ドメイン名、もしくはセンタIPアドレス
	マルチファイル	無効
	再送区分	有効
	ファイル成立タイミング	ファイル単位
	最大テキスト長	261
	MAXリトライ回数	0
	リトライインターバル	3

ホスト名がTEST、ドメイン名がVICTOKAI. CO. JPの場合は、TEST. VICTOKAI. CO. JPと指定します

## ⑦-1. 送信ファイル情報設定

(卸、メーカー様で共通商品マスタへ登録の場合)

The screenshot shows the JFT/Lite application window with a menu bar (File, Edit, View, System, Business, Help) and a toolbar. The main area displays a file tree with '送信マスタ' (Send Master) selected. A callout bubble points to the '送信マスタ' folder, instructing the user to right-click and select '新規作成' (New) to create a new entry. Below this, two 'ファイル情報' (File Information) dialog boxes are shown side-by-side. The left dialog has the '全銀手順' (All Bank Procedure) tab selected, and the right dialog has the 'ファイル属性' (File Attributes) tab selected. Both dialogs show fields for file name, protocol, and physical file name. Callout bubbles point to the '全銀手順' and 'ファイル属性' tabs, and another bubble points to the 'OK' button in both dialogs, instructing the user to follow the settings on the next page and click 'OK' when finished.

“配信”を右クリックして「新規作成」を選択して下さい。  
※下のような画面が表示されます。

次ページの設定内容に従って設定して下さい。

設定し終わったら「OK」ボタンを押して下さい。

※タブを押し「全銀手順」と「ファイル属性」の2画面について設定を行います。

## ⑦-2. 送信ファイル情報設定

(卸、メーカー様で共通商品マスタへ登録の場合)

タブ名	JFT/Lite設定項目	設定内容(入力内容)
共通	ファイル名	送信マスタ
全銀手順	プロトコル上ファイル名	利用通知書の15番「ファイル識別コードデータ送信用」※半角入力(右にある半角を指定して下さい)
	ファイル名補助情報	未設定
	ファイルアクセスキー	利用通知書の16番「ファイルアクセスキー」※半角入力(右にある半角を指定して下さい)
ファイル属性	ファイル属性	ストリーム
	レコード属性	固定長
	圧縮区分	無効
	レコード長	256
	物理ファイル名	C:¥Center¥send_master.txt

※送信する際に予め C:¥Centerフォルダ に send\_master.txt という名前で送信したいファイルを保存しておく必要があります。



## ⑧-1. エラーファイル情報設定 (卸、メーカー様で共通商品マスタへ登録の場合)

”集信”を右クリックして「新規作成」を選択して下さい。  
※下のような画面が表示されます。

次ページの設定内容に従って設定して下さい。

設定し終わったら「OK」ボタンを押して下さい。

ファイル情報

ファイル名 エラー情報 集配信区分 集信

全銀手順 ファイル属性 後続連携

ファイル属性 ストリーム レコード属性 固定長

圧縮区分 有効 レコード長 256

物理ファイル名 C:\Centersend\_error.bt 参照

OK 閉じる リセット

※**タブ**を押し「全銀手順」と「ファイル属性」の2画面について設定を行います。

## ⑧-2. エラーファイル情報設定 (卸、メーカー様で共通商品マスタへ登録の場合)

タブ名	JFT/Lite設定項目	設定内容(入力内容)
共通	ファイル名	エラー情報
全銀手順	プロトコル上ファイル名	利用通知書の15番「ファイル識別コードエラーファイル受信用」 ※半角入力(右にある半角を指定して下さい)
	ファイル名補助情報	未設定
	ファイルアクセスキー	利用通知書の16番「ファイルアクセスキー」 ※半角入力(右にある半角を指定して下さい)
ファイル属性	ファイル属性	ストリーム
	レコード属性	固定長
	圧縮区分	無効
	レコード長	256
	物理ファイル名	C:¥Center¥error.txt

※上記設定で C:¥Center フォルダに error.txt という名前で受信したエラーファイルが保存されます。

## ⑨-1. 受信ファイル情報設定

(POS実施店及び卸、メーカー様で商品マスタを受領の場合)

”集信”を右クリックして「新規作成」を選択して下さい。  
※下のような画面が表示されます。

次ページの設定内容に従って設定して下さい。

設定し終わったら「OK」ボタンを押して下さい。

※**タブ**を押し「全銀手順」と「ファイル属性」の2画面について設定を行います。

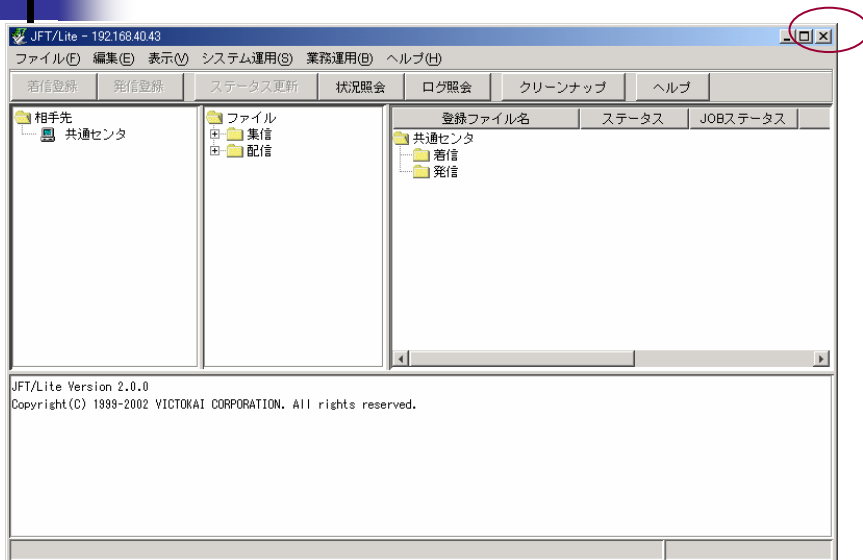
## ⑨-2. 受信ファイル情報設定

(POS実施店及び卸、メーカー様で商品マスタを受領の場合)

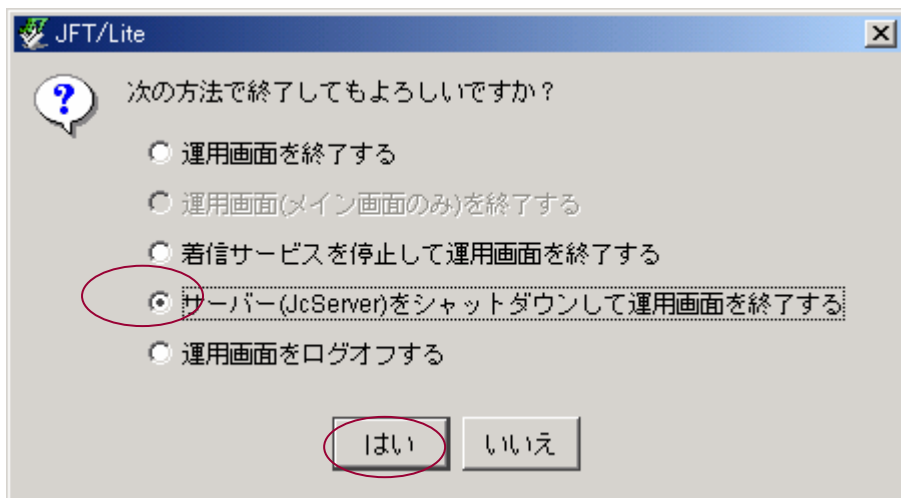
タブ名	JFT/Lite設定項目	設定内容(入力内容)
共通	ファイル名	受信マスタ
全銀手順	プロトコル上ファイル名	利用通知書の15番「ファイル識別コードデータ受信用」※半角入力(右にある半角を指定して下さい)
	ファイル名補助情報	未設定
	ファイルアクセスキー	利用通知書の16番「ファイルアクセスキー」※半角入力(右にある半角を指定して下さい)
ファイル属性	ファイル属性	ストリーム
	レコード属性	固定長
	圧縮区分	無効
	レコード長	256
	物理ファイル名	C:¥Center¥recv_master.txt

※上記設定で C:¥Center フォルダに recv\_master.txt という名前で受信したいファイルが保存されます。

## ⑩ パソコンへJFT/Lite設定の完了



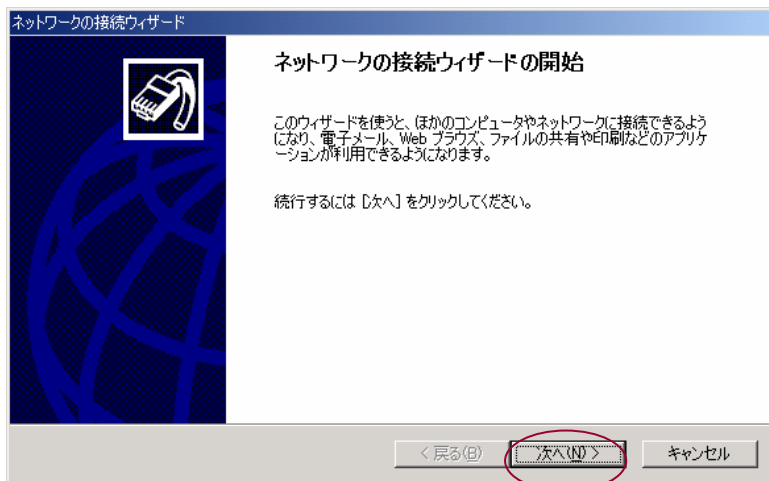
1. ウィンドウ右上の「×」を押して下さい。



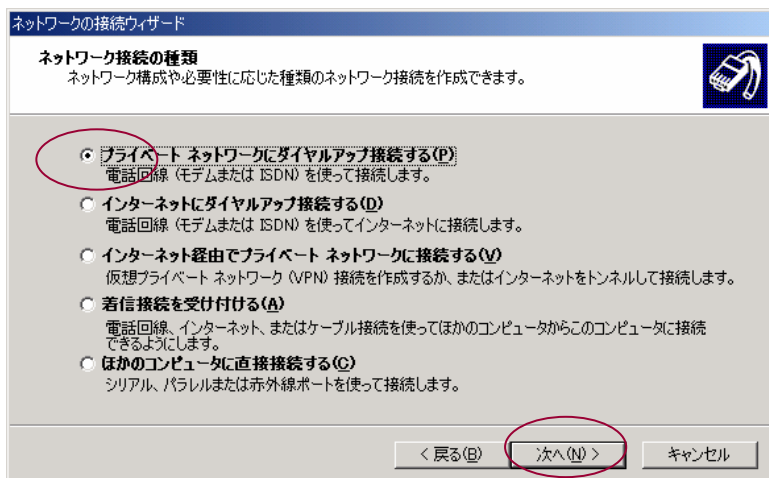
2. “サーバ(JcServer)をシャットダウンして運用画面を終了する”を選択して「はい」ボタンを押して下さい。

※”サーバ(JcServer)をシャットダウンして運用画面を終了する“を選択せずに終了してしまった場合は、Windowsの「スタート」メニューから「スタート」→「プログラム」→「JFTLite」→「Stop JcServer」を選択して下さい。

## ⑪-1. ダイアルアップの設定



1. Windowsのスタートメニューから「スタート」→「設定」→「ネットワークとダイアルアップ接続」→「新しい接続の作成」を選択して下さい。
2. 「次へ」ボタンを押して下さい。



3. “プライベートネットワークにダイアルアップ接続する”を指定して下さい。
4. 「次へ」ボタンを押して下さい。

## ⑪ -2. ダイヤルアップの設定

ネットワークの接続ウィザード

**ダイヤルする電話番号**  
接続先のコンピュータまたはネットワークの電話番号を指定してください。

接続する先のコンピュータまたはネットワークの電話番号を入力してください。コンピュータにほかの場所からのダイヤル方法を自動的に判断させるには、「ダイヤル情報を使う」チェックボックスをオンにします。

市外局番(A):  電話番号(B):

国番号/地域番号(C):

ダイヤル情報を使う(D)

< 戻る(B) > **次へ(N) >** キャンセル

ネットワークの接続ウィザード

**接続の利用範囲**  
新しい接続をすべてのユーザー用、または自分専用指定できます。

この接続をすべてのユーザー用または自分専用指定できます。自分専用のプロファイルに格納した接続は、あなたがログオンしたときだけ利用できます。

この接続を利用できるユーザーを指定してください。

すべてのユーザー(E)  
 自分のみ(F)

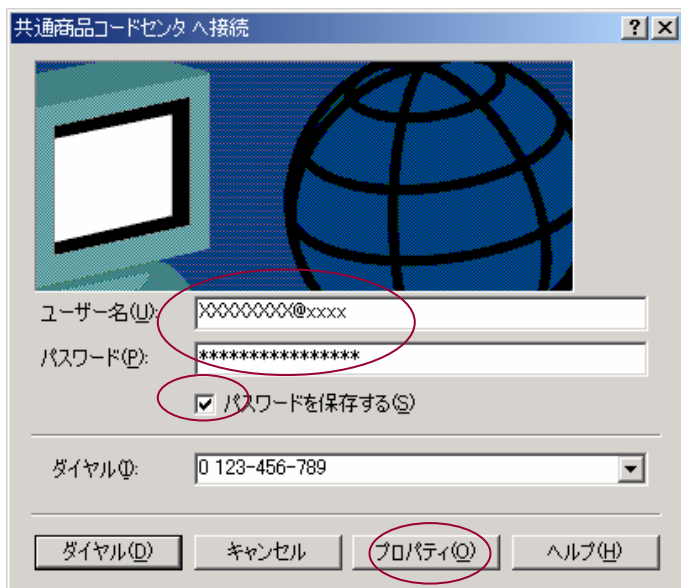
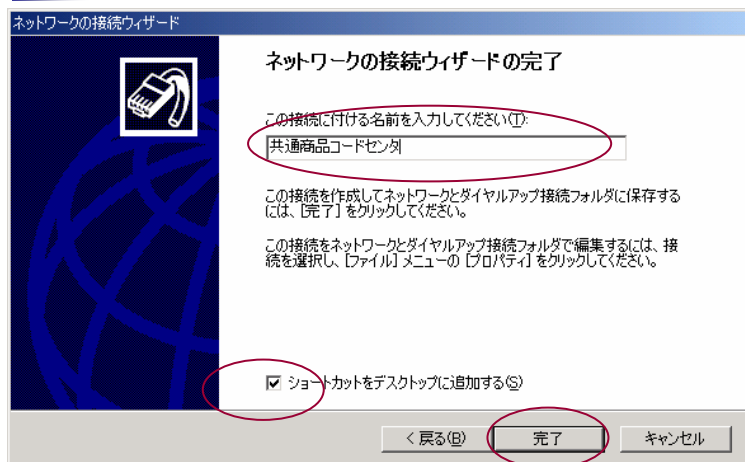
< 戻る(B) > **次へ(N) >** キャンセル

5. 電話番号に利用通知書の5番「アクセスポイント地区、回線番号」を入力して下さい。

6. 「次へ」ボタンを押して下さい。

7. 「次へ」ボタンを押して下さい。

## ⑪ -3. ダイアルアップの設定



8. 名前を“共通商品コードセンタ”と入力して下さい。

9. “ショートカットをデスクトップに追加する”をチェックして下さい。

10. 「完了」ボタンを押して下さい。

11. ユーザ名に利用通知書の8番「ユーザID」を入力して下さい。

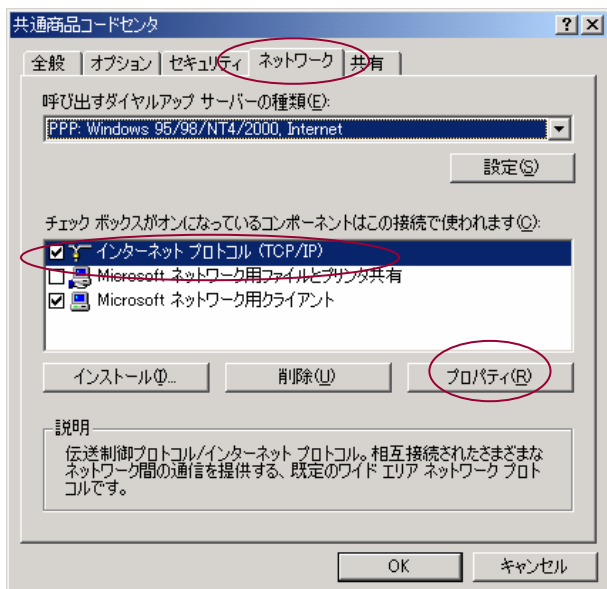
12. パスワードに利用通知書の9番「パスワード」を入力して下さい。

13. パスワードを保存するをチェックして下さい。

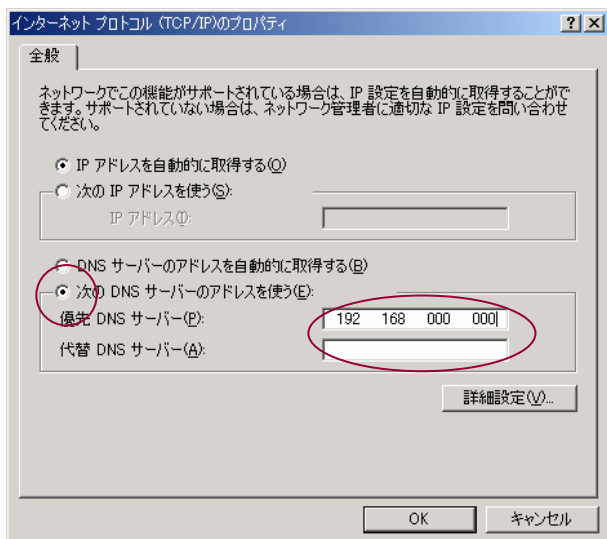
14. 「プロパティ」ボタンを押して下さい。



## ⑪ -4. ダイアルアップの設定



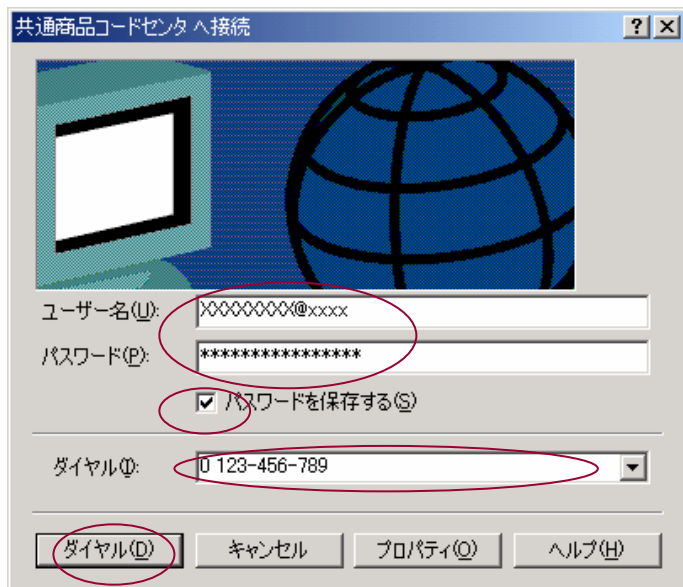
15. “ネットワーク”タブを選択し、“インターネットプロトコル(TCP/IP)”が選択し、「プロパティ」ボタンを押して下さい。



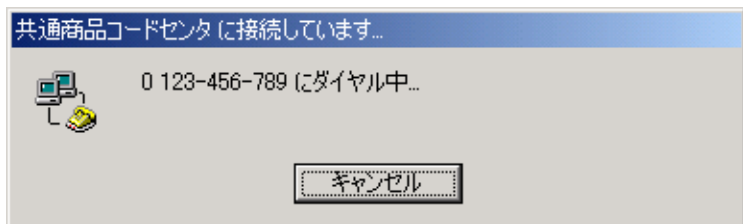
16. “次のDNSサーバアドレスを使うのラジオボタンを選択し、利用通知書の7番「DNSサーバアドレス」を入力して下さい。

17. 設定し終わったら「OK」ボタンを押して、この2つの画面を終了させます。

## ⑪ -5. ダイアルアップの設定



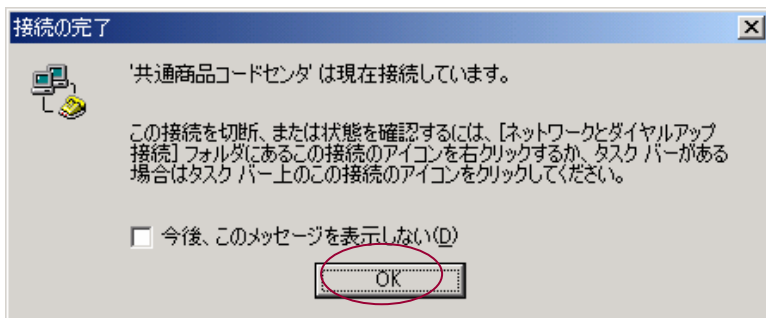
18. 先に入力したユーザ名、パスワード、ダイヤル番号を確認して「ダイヤル」ボタンを押して下さい。



19. 接続の確認を行います。

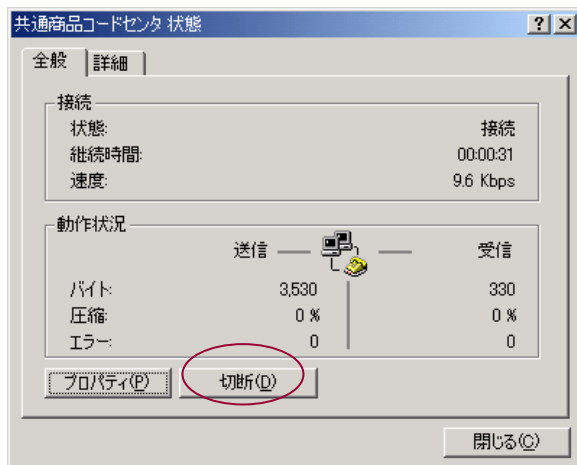
※接続エラーになった場合は、もう一度設定を確認して下さい。


## ⑪ -6. ダイアルアップの設定



20. 接続が完了すると、左のようなダイアログが表示される場合がありますので「OK」ボタンを押して下さい。

※タスクバー上にこの接続のアイコンが表示されます。



21. 切断する場合は、タスクバー上のこの接続のアイコン  をクリックして下さい。

22. 「切断」ボタンを押して下さい。

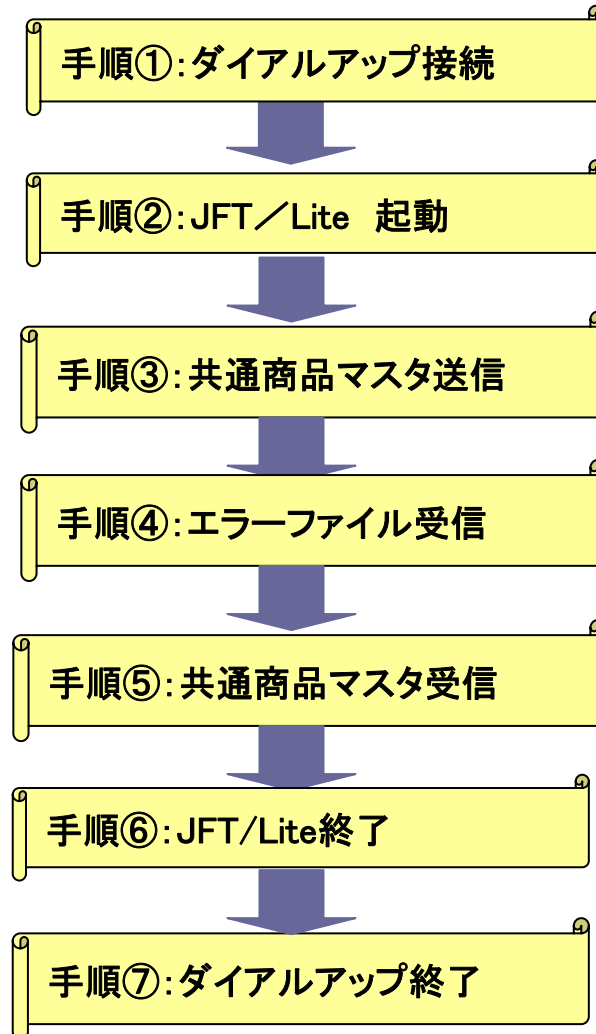
23. ご苦労様でした。



---

# 運用編

## 運用手順



## ①-1. ダイアルアップ接続方法



共通商品コードセンタ



共通商品コードセンタへ接続

ユーザー名(U): XXXXXXXXXXXX@xxxx

パスワード(P): \*\*\*\*\*

パスワードを保存する(S)

ダイヤル(D): 8.123-456-789

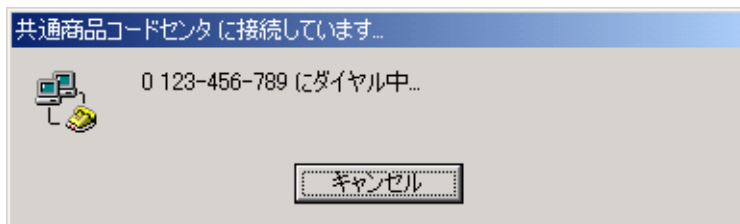
ダイヤル(D) キャンセル プロパティ(O) ヘルプ(H)

1. デスクトップ上の共通商品コードセンタのアイコンをダブルクリックして下さい。

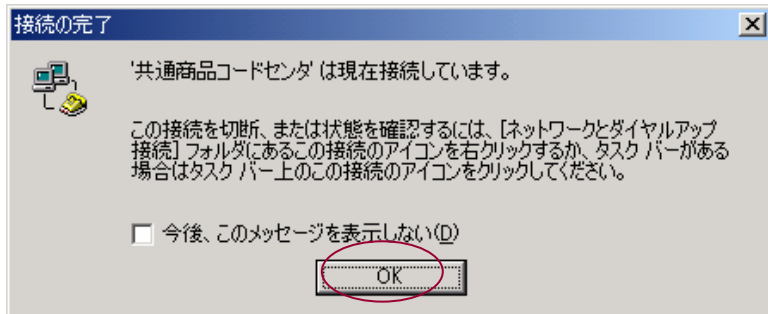
2. ユーザ名、パスワード、ダイヤルを確認してから「ダイヤル」ボタンを押して下さい。

※設定内容は利用通知書でご確認下さい。


## ①-2. ダイアルアップ設定



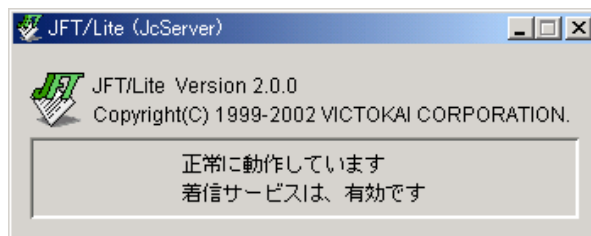
3. 接続を行っています。



4. 接続が完了すると、左のようなダイアログが表示される場合がありますので「OK」ボタンを押して下さい。

※タスクバー上にこの接続のアイコン  が表示されます。

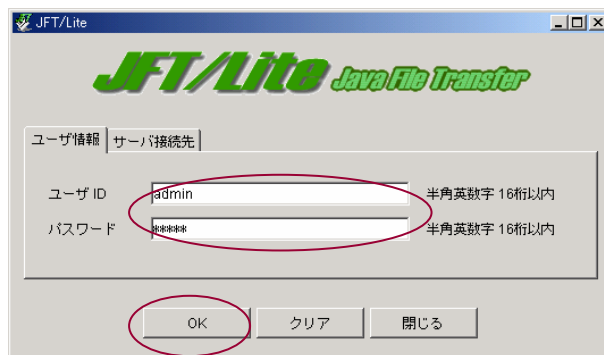
## ②JFT/Lite 起動



1. デスクトップ上の「JcServer」アイコンをダブルクリックして下さい。

※アイコンはデスクトップ上にあります。

※左のようなダイアログが表示されます。表示されない場合は、タスクバーを確認して下さい。



2. デスクトップ上の「JcMonitor」アイコンをダブルクリックして下さい

※アイコンはデスクトップ上にあります。

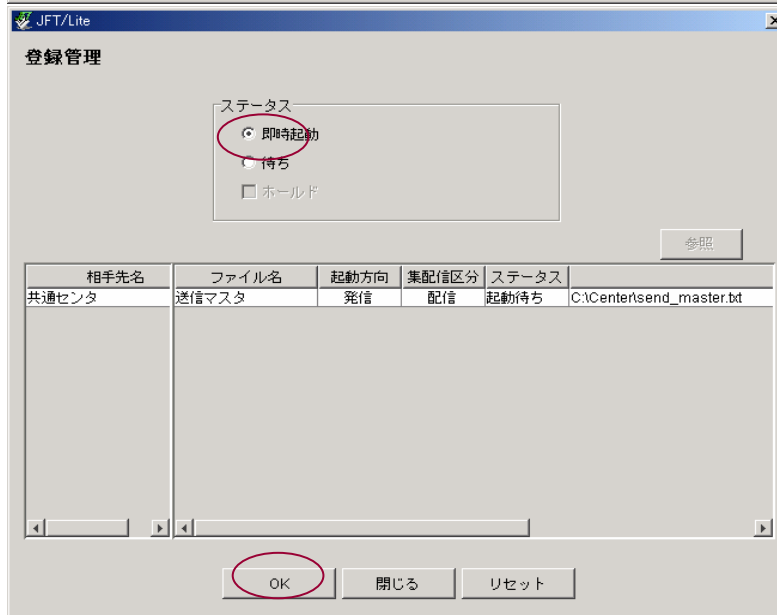
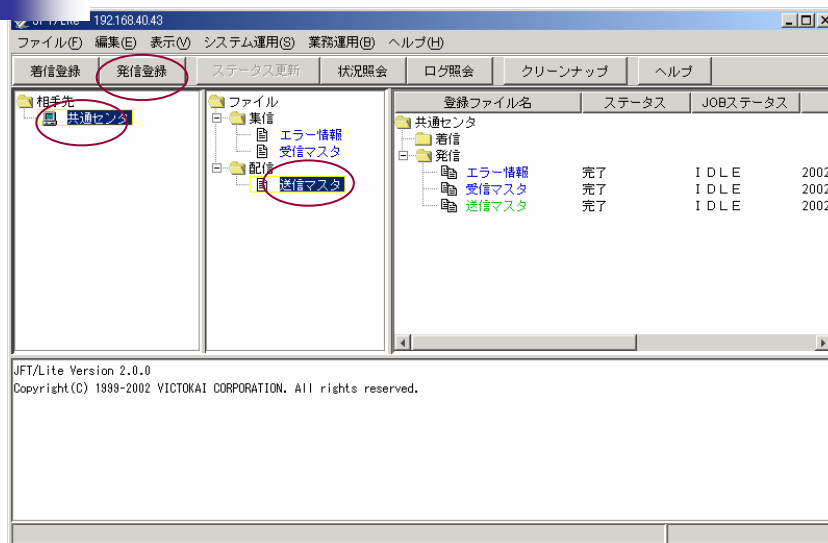
※左のようなダイアログが表示されます。

3. ユーザIDに”admin”、パスワードに”admin”を入力し「OK」ボタンを押します。(半角入力です)



### ③共通商品マスタ送信方法

(卸、メーカー様で共通商品マスタへ登録の場合)



1. 送信する前に送信ファイルをC:\Centerフォルダにsend\_master.txtという名前で保存して下さい。

2. “共通センタ”と“送信マスタ”を選択して「発信登録」ボタンを押して下さい。

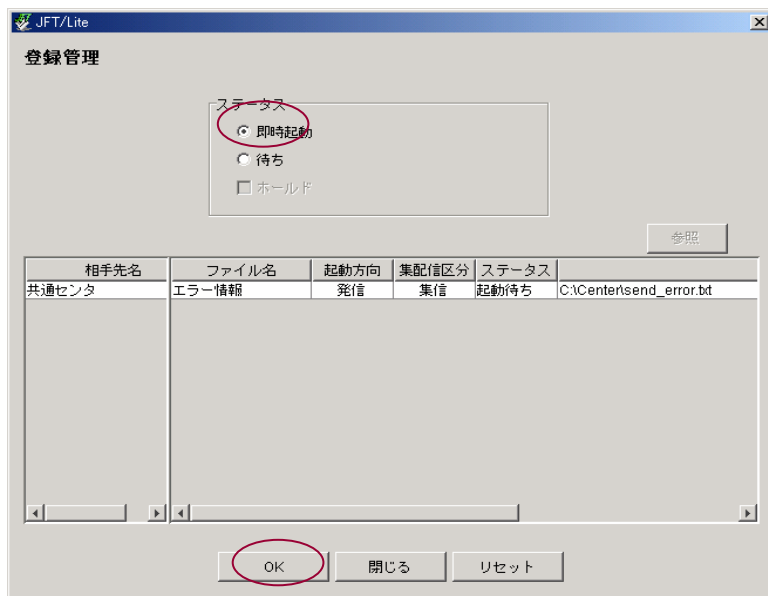
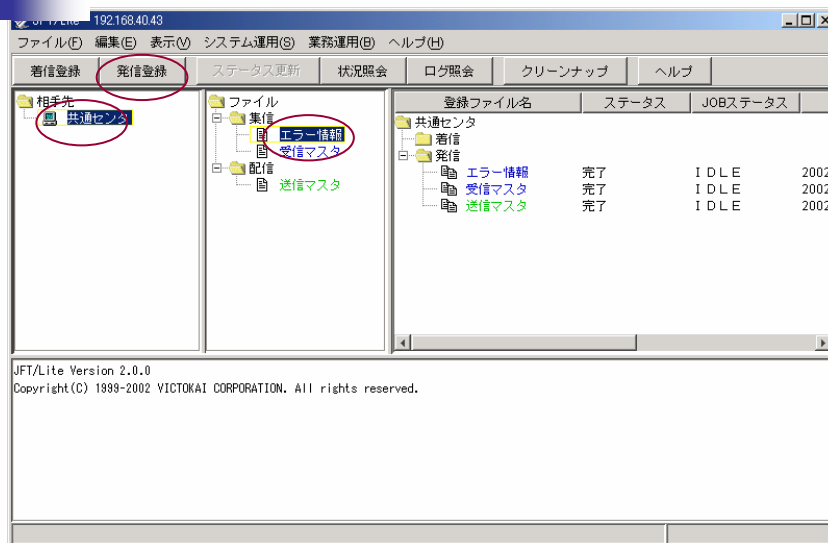
3. “即時起動”を選択して「OK」ボタンを押して下さい。通信が開始されます。

4. 送信完了後センターへ正しく登録されたか確認のため、次ページを参照しエラーファイルの受信確認を必ずしてください。

※エラーファイルの受信確認はファイル送信後数分後に実施してください。

## ④エラーファイル受信方法

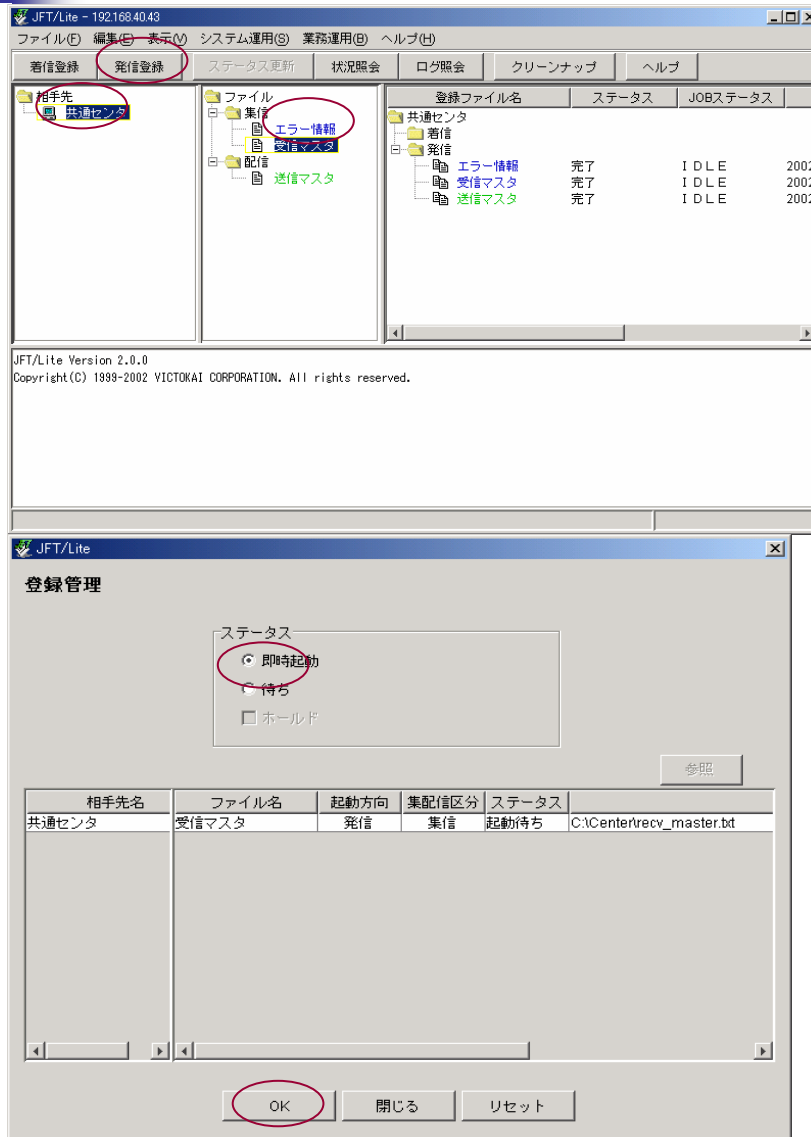
(卸、メーカー様で共通商品マスタへ登録の場合)



1. 受信する前にC:¥Centerフォルダにerror.txtという名前のファイルが無いことを確認してください。
2. “共通センタ”と“エラー情報”を選択して「発信登録」ボタンを押して下さい。
3. “即時起動”を選択して「OK」ボタンを押して下さい。通信が開始されます。
4. 受信したファイルは、ファイル情報で指定したC:¥Centerフォルダにerror.txtの名前で保存されます。
5. C:¥Centerフォルダにerror.txtが無ければ、前ページで送信したマスタのセンタ登録が成功しています。  
※エラーファイルが有る場合はファイルの中身を確認し、対応してください。

## ⑤ 共通商品マスタ受信方法

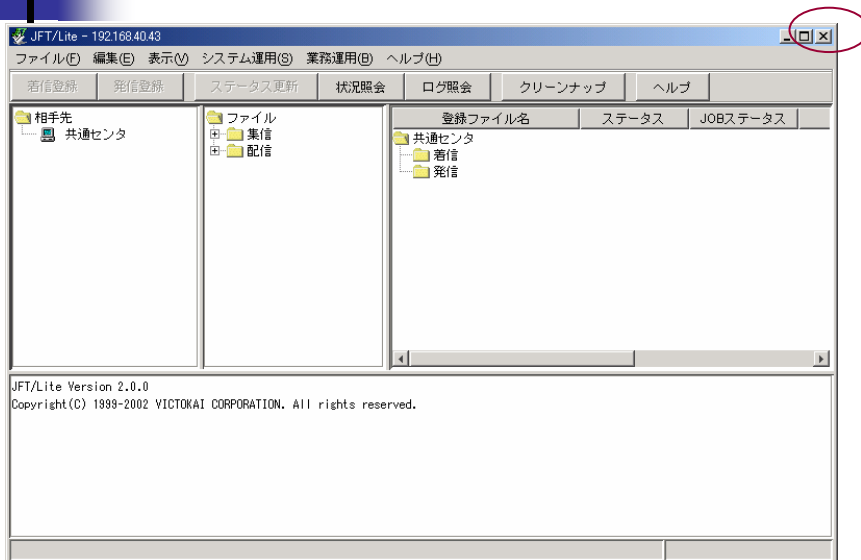
(POS実施店及び卸、メーカー様で商品マスタを受領の場合)



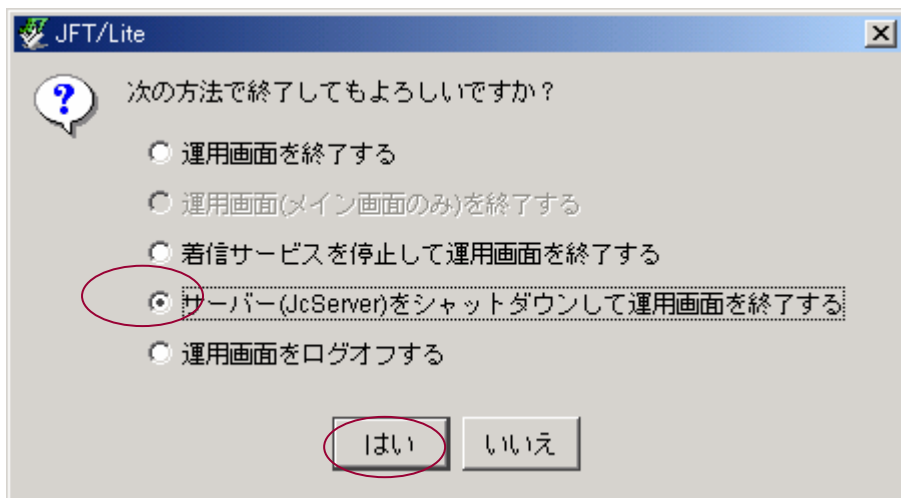
1. 受信する前にC:\¥Centerフォルダにrecv\_master.txtという名前のファイルが無いことを確認してください。
2. “共通センタ”と“受信マスタ”を選択して「発信登録」ボタンを押して下さい。
3. “即時起動”を選択して「OK」ボタンを押して下さい。通信が開始されます。
4. 受信したファイルは、ファイル情報で指定したC:\¥Centerフォルダにrecv\_master.txtの名前で保存されます。

※再度発信登録を行うと当ファイルを上書きしますので注意して下さい。

## ⑥JFT/Liteプログラムの終了



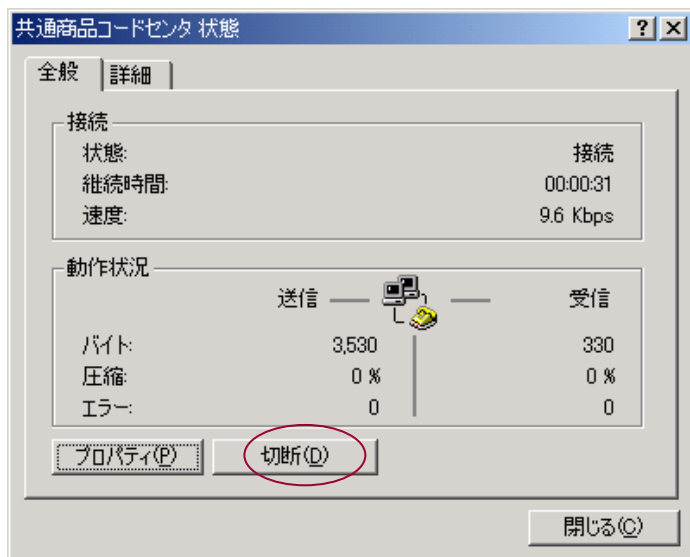
1. ウィンドウ右上の「×」を押して下さい。




2. “サーバ(JcServer)をシャットダウンして運用画面を終了する”を選択して「はい」ボタンを押して下さい。

※”サーバ(JcServer)をシャットダウンして運用画面を終了する“を選択せずに終了してしまった場合は、Windowsの「スタート」メニューから「スタート」→「プログラム」→「JFTLite」→「Stop JcServer」を選択して下さい。

## ⑦ダイアルアップの終了



1. 切断する場合は、タスクバー上の接続アイコン  をクリックして下さい。
2. 「切断」ボタンを押して下さい。

**※マスタファイルの送受信が終了後、必ず上記切断作業を行ってください。  
切断作業を行うまで、電話料金が加算されておりますので、ご注意ください。**



## マスタファイルについて

商品共通マスタファイルは送信、受信とも固定長256バイトのテキスト形式ファイルとなります。

メモ帳等のテキストエディタで、参照することは可能です。

マスタファイルを手動で作成するにはエクセル等の表計算ソフトでフォーマット通りに入力後、マクロを用いて256バイトのテキストファイルに変換する方式があります。簡易なマクロ(VBA)についてはツール(エクセルファイル)としてご提供する予定です。

(ユーザ様の業務ホストでマスタファイルを作成される場合は必要ありません)

なお、受信したマスタファイルの取込については、ユーザ様にてご対応いただきますようお願いいたします。

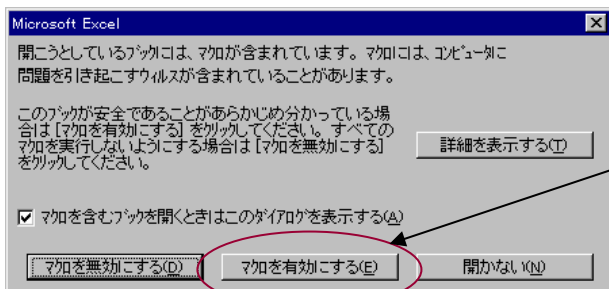
**※本サービスの詳細な内容は、共通商品コードセンタ発行の商品マスタ送受信サービス仕様書をご参照ください。**

**※簡易マスタ作成ツールについては次ページをご参照ください。**

**※データフォーマットについて商品マスタ送受信サービス仕様書をご参照ください。**

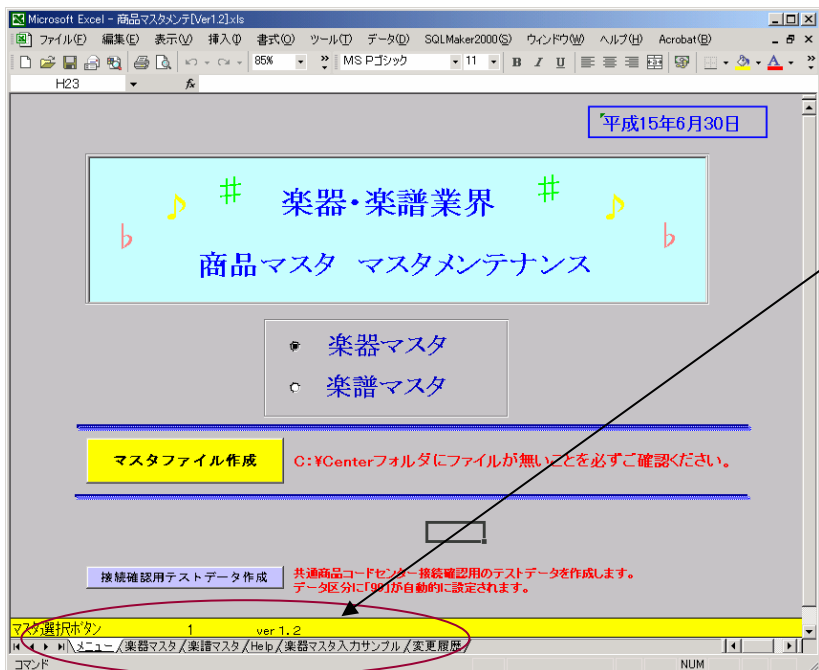
# 1. EXCELから簡易に商品マスタを作成するツールご紹介

1. 弊社で用意しました、エクセルのファイル(ファイル名 楽器マスタメンテ.xls)を起動してください。



2. マクロ形式のため左の画面が起動時に出ますが「マクロを有効にする」をクリックしてください。

※エクセルのセキュリティレベルが中の場合に出る画面です。セキュリティレベルの変更はエクセルのヘルプをご参照ください。

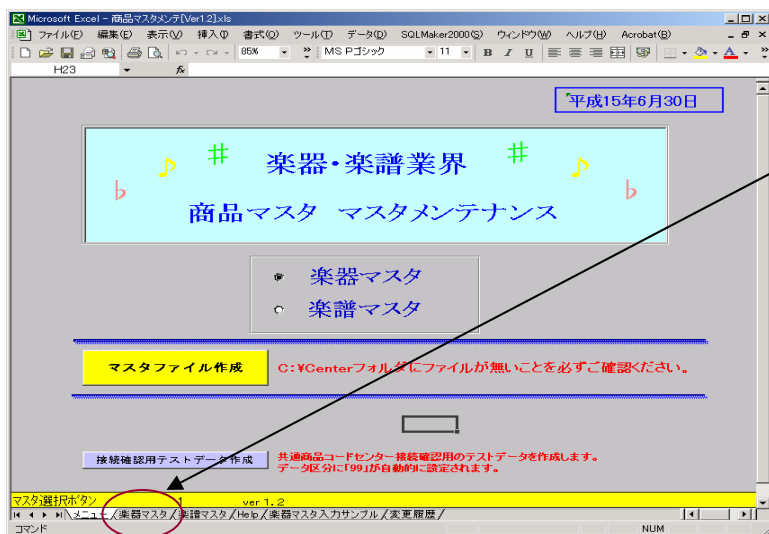


3. 左のような画面が現れます。左下のシート選択タブをクリックすると、各画面に移動します。

メニュー	ファイル作成を指示するメイン画面(左図)
楽器マスタ	楽器のマスタファイルを作成します
楽譜マスタ	楽譜のマスタファイルを作成します
Help	マスタ入力に当たっての規約を表示

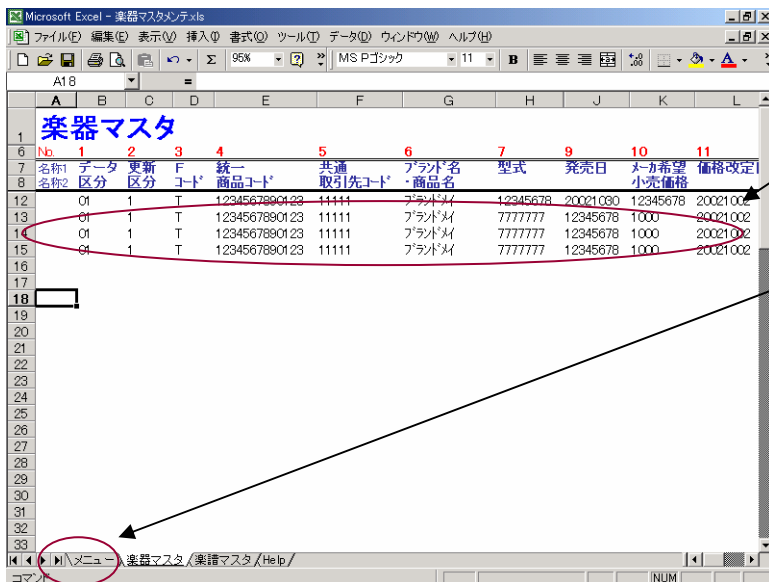
※Helpは通常は使用しません。

## 2. ツールご紹介



4. まず左画面の「楽器マスタ」タブを選び、楽器マスタ作成画面(下画面)に移ります。

※楽譜マスタを作成する場合は、「楽譜マスタ」タブをクリックします。



5. 左画面で各項目にしたがって、マスタ登録内容を入力していきます。

6. 全ての内容を登録し終わったら、「メニュー」タブを選びメニュー画面に戻ります。

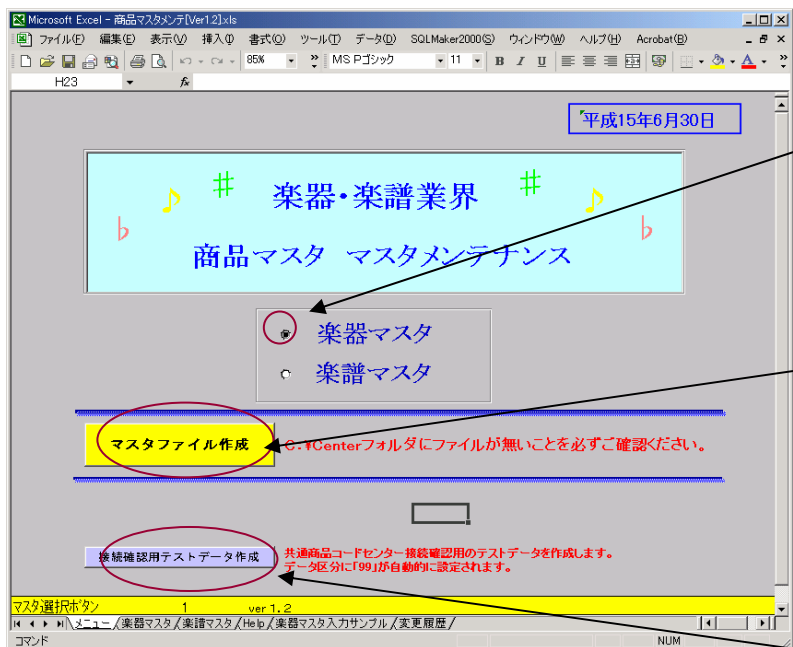
※1行につき1マスタの登録となります。

※入力数が、項目桁数より少ない場合でも、スペースで埋める必要はありません。

※登録内容のチェック機能はありませんので、正確に入力をお願いいたします。



### 3. ツールご紹介



7. メニュー画面に戻ったら、楽器マスタのチェックをクリックします。

※楽譜マスタの場合は、楽譜マスタチェックをクリックします。

8. ファイル作成ボタンを押すと、先ほど入力した内容が、C:\¥Centerフォルダに「send\_master.txt」という名前でテキストファイルとして保存されます。

以上の手順でマスタファイルの作成が簡単に行えます。

※ 共通商品コードセンターへの接続確認を行うデータを作成する場合、「接続確認用テストデータ作成」をクリックします。

## 使用上のご注意

- ①ファイル作成ボタンを押す前に、必ずC:\¥Centerフォルダに「send\_master.txt」が無いことをご確認ください。  
ファイルがあった場合は別の場所にファイルを移動させてから、ファイル作成ボタンを押してください。  
ファイルがあるにも関わらず、ファイル作成ボタンを押した場合、正常にファイルが作成されないばかりか、前のファイルを上書きしてしまいますので十分にご注意ください。
- ②楽器マスタと楽譜マスタの両方を作成される場合は、どちらかのマスタを作成後、JFT/Liteで送信を完了してから、次のマスタを作成してください。(その際も①の注意は必ず守ってください)

# ライセンスキー取得方法

## 1. JFT/Liteライセンスキー取得方法について

**JFT/Liteのライセンスキーをご希望の場合には、全国楽器協会殿へご連絡下さい。**

全国楽器協会殿を通じ、弊社(株式会社ビック東海)よりお客様へご連絡させていただきます。

※ライセンスキー取得は有償となりますのでご了承下さい。

※購入価格につきましては、全国楽器協会殿へお問い合わせ下さい。

## 2. ご連絡内容について

①弊社よりご連絡させていただく際、下記内容をご確認させていただきますのでご了承下さい。

※ご確認内容「**会社名、部署名、担当者名、住所、電話番号、e-mailアドレス、ライセンス数、使用OS、  
CD-ROM必要の有無(別途有償)**」

②ご確認から1週間以内に弊社よりライセンスキーと請求書を発送させていただきます。

③弊社より送付しましたライセンスキーを20ページの「ユーザ登録」での画面に入力いただければ、そのまま正規製品版としてお使いいただけます。

## 3. 弊社窓口について (平日9:30~17:30、土日祝日および年末年始は除く)

**株式会社ビック東海 システムイノベーションサービス本部 SI事業部 東京営業部**

①営業窓口 ソリューショングループ [担当]赤堀、設楽

TEL 03-3864-3491 FAX 03-3864-3498 E-mail: jft-info@victokai.co.jp

②製品技術窓口 プロダクト課 JFT/Liteサポート担当

TEL 03-5687-3119 FAX 03-5687-3125 E-mail: jft\_question@victokai.co.jp